

国際研究交流の推進に要する経費

【15（67）百万円】

対策のポイント

農林水産研究の国際的な課題解決を図るため、国際農業研究機関等と協力して若手研究者の人材育成を図ります。

<背景／課題>

- ・「食料・農業・農村基本計画」に基づき、食料・環境問題等の地球規模の課題解決に貢献するためには、将来にわたって国際農業研究を推進できる優れた若手研究者の育成が必要です。
- ・海外で研究に従事する日本人研究者が減少している中、大学院生からポストドクター等の多様なキャリアに応じた体系的なグローバル人材育成プログラムにより、将来の国際農業研究を担う日本人研究者の育成が必要です。

政策目標

派遣後に、より高度な研究活動を実施する若手研究者の育成

<主な内容>

国際共同研究人材育成推進・支援事業

15（67）百万円

我が国の若手研究者を国際農業研究機関等に派遣し、将来の国際研究交流や海外との共同研究を遂行するための能力を備えた研究者の育成を推進します。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：農林水産技術会議事務局国際研究課

(03-3502-7466(直))]

国際共同研究人材育成推進・支援事業

— 国際農業研究の場で活躍できる若手研究者の人材育成 —

【短期派遣】

国際農業研究の現場を知る
国際農業研究に従事する夢をもつ

対象者：修士課程以上
35歳までの研究者

受託者が各CGIARセンター
から課題を募集

(募集課題例)
持続性と環境負荷の視点に
たった節水イネ栽培の評価
(IRRI/アヒン)

若手研究者・大学院生が
関心のある課題に応募

応募者から7名程度を選抜し、
2ヶ月程度派遣
(旅費・滞在費・研究費を支給)

【長期派遣】

海外の研究機関の研究者と
共同研究が出来る能力・国際
感覚を養い、研究者としてス
キルアップ

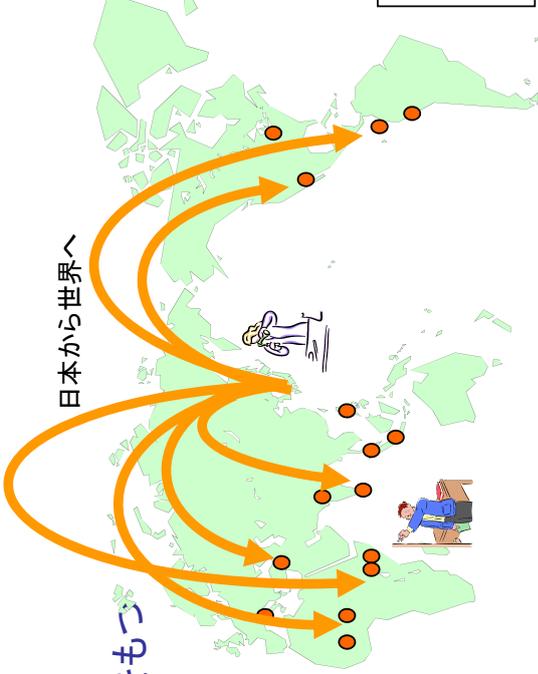
対象者：博士号取得者
40歳までの研究者

応募者が各CGIARセンター等
に対し、自分の受け入れにつ
いて承認を得る

本事業に応募

応募者から2名程度を選抜し、
6ヶ月以上派遣
(旅費・研究費を支給)

※単年度ごとに研究に対する
評価を実施



CGIAR(国際農業研究協議グループ):
途上国における食料安全保障・貧困削減に貢献
することを目的とし、世界規模に展開する15の
農業研究機関から成立

主なCGIARの特徴

- 小麦・米など「緑の革命」を可能にし
た多くの成果を世界に発出。
- 世界最大の遺伝資源を保管し、生物
多様性の保全に貢献
- 合計1200名を超える世界各国の研
究者が国際農業研究に従事